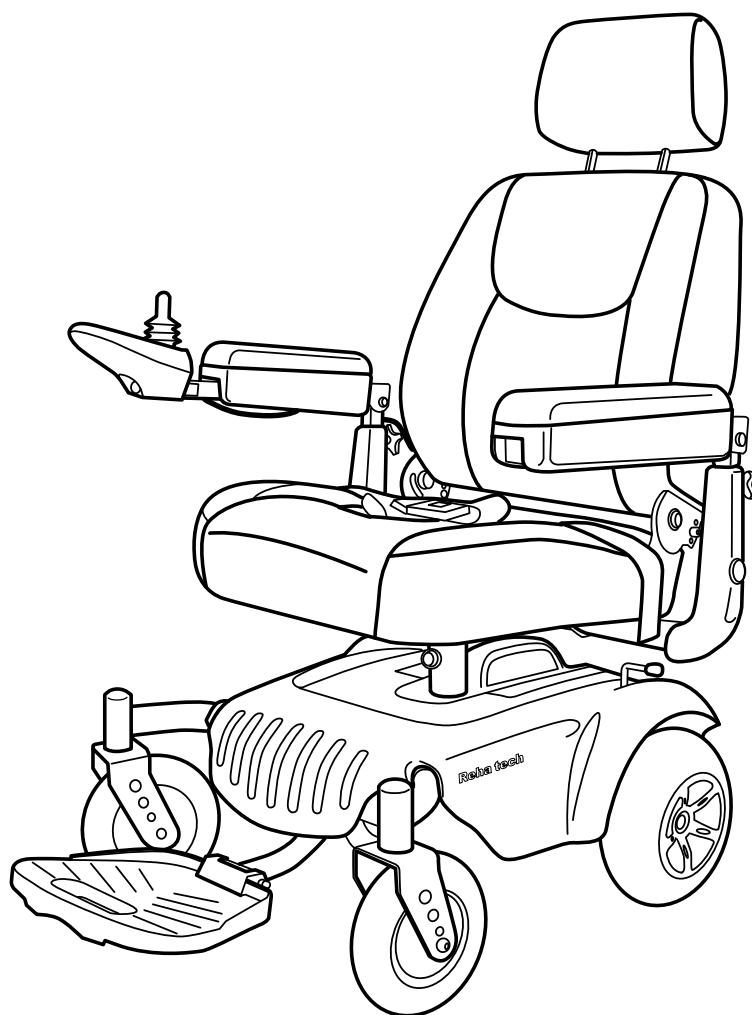


安全で快適にご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みください。
また、お読みになったあともいつでも読み返せるように、大切に保管してください。

リハテック
Reha tech P320
電動車いす

303903-8900



取扱説明書

 **警告** ご使用の前には必ず取扱説明書をよく読んでください。

このたびは、製品をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
運転に慣れるまでは、広い平坦な場所で十分練習してください。

FranceBed

目次

初めに

運転前の練習	2
--------------	---

安全に関する手引き

安全上の注意	4
屋外での走行	7
様々な状況の路面での走行	9

車いすの使い方を知る

各部の名称	11
仕様	12
用語について	13
分解の仕方	14

乗り心地を調整する

コントローラーの位置を調整する	15
アームレストの角度を調整する	16
アームレストの幅を調整する	16
フットレストの角度を調整する	17

操作方法

手押しの方法	18
VR2コントローラーの操作の仕方	19
バッテリーおよび充電	24

充電器について

充電器説明	27
-------------	----

杖ホルダーの取付け方

保証書

ようこそ

当社の新型電動車いすをお買い求めいただき、誠にありがとうございます。
電動車いすを初めて運転される前に、本取扱説明書をよくお読みになって、正しくご利用ください。
本取扱説明書にご不明な点がある場合や、電動車いすの組み立てにあたってお手伝いが必要な場合は、
お近くの販売店にお問い合わせください。

本製品は、ご利用になる皆様が実際にお使いになる際のご要望にお応えできるよう、
頑丈な構造と最先端のハイテク電子装置を組み合わせることで安全性および性能を高めた最新モデルです。

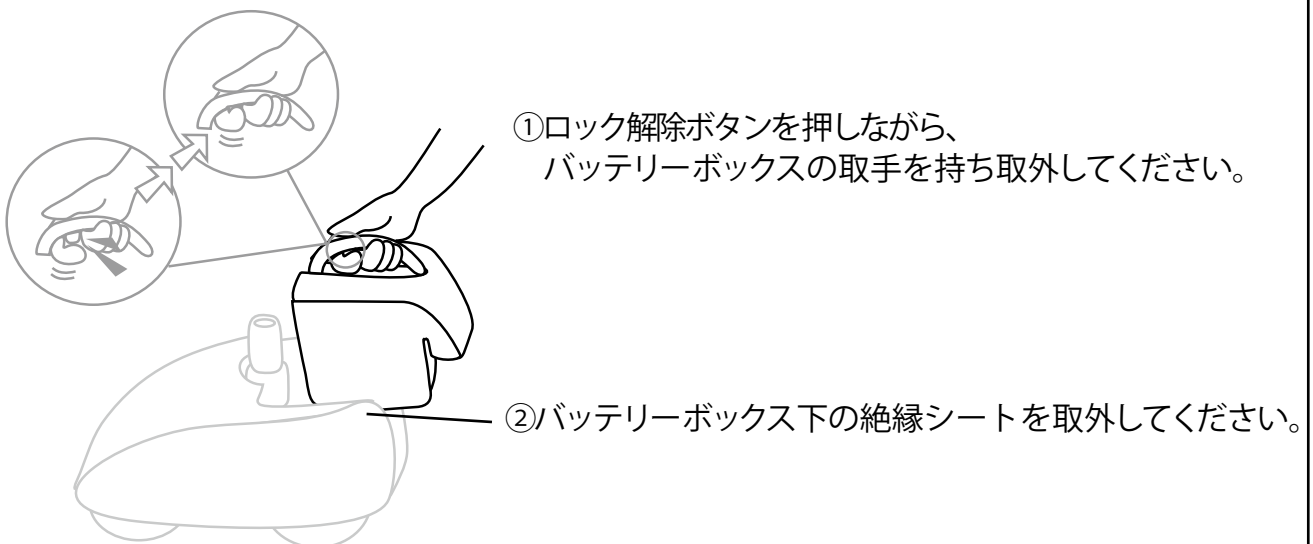
お近くの販売店で電動車いすの定期点検を行ってください。
操作のスムーズさと安全性を最大限に保つことができます。

本取扱説明書では、安全性や運転、整備に関するアドバイスや便利な情報をご紹介します。
本書をよくお読みになり、お一人での快適な移動を存分にお楽しみください。

特別なアドバイスやお手伝いを必要とされる場合は、お近くの販売店までお気軽に
お問い合わせください。
電動車いす用のツールと知識を持つ専門家によるサポートが受けられます。

皆様のご意見・ご感想を、お近くの販売店ならびに当社へお寄せいただければ幸いです。
今後のサービス向上のため、また皆様のご要望にお応えするために、
皆様の貴重なご意見を役立てさせていただきます。

※初回使用時には。





警告

使用前、使用後には、必ず点検を行ってください。
この製品をご使用になる前、ご使用後には必ず点検を行ってください。
点検を怠ると事故、故障の原因となります。

■ 運転前の練習。

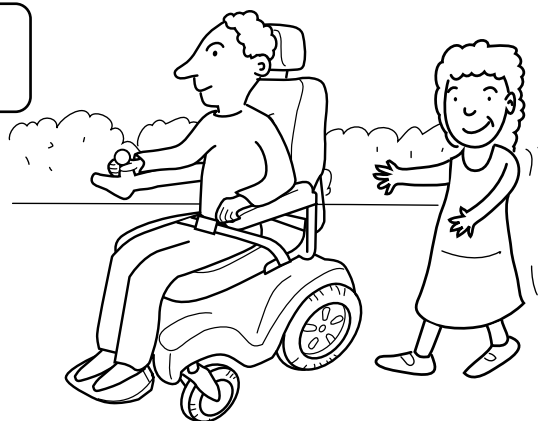
車いすの運転に慣れるまでは、公園などの広い場所で、
補助者の立会いのもとに十分な練習を行ってください。
座席に乗り降りする前は必ず、電源を切っていることを確認してください。
運転の習熟度に合わせて、速度設定キーを調整してください。



警告

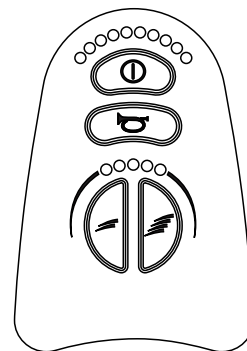
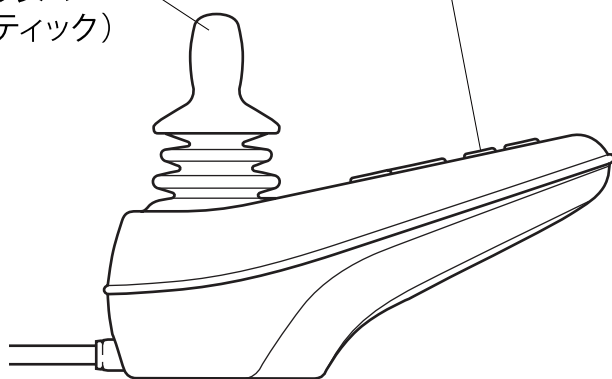
乗車時にはシートベルトを
必ず着用して下さい。

本製品の運転に慣れるまでは、
速度設定キーを常に最低速度に
合わせておくことをお勧めします。



コントロールレバー
(ジョイスティック)

コントロールパネル



VR2コントローラーボタンについて



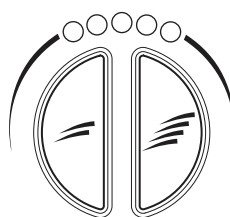
バッテリーメーター



電源スイッチ



警笛スイッチ



最高速度設定表示

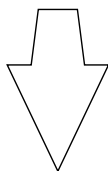
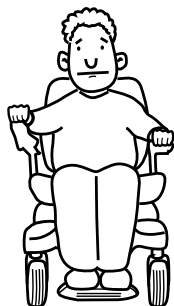
≡ 速度設定キー/低

≡ 速度設定キー/高

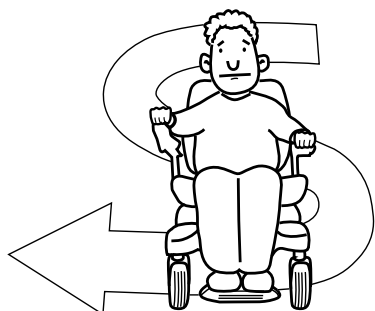


道路交通法において、電動車いすは歩行者として扱われます。
歩行者としての交通ルールを守って安全に走行してください。

この乗り物に慣れましょう。



まず、まっすぐ走行してください。
最初は最低速度で確かめてください。



"S" 字クランク走行。
速度と方向変換のタイミングを覚えましょう。



"S"字を練習して慣れたら、後進での動き方を理解しましょう。
ゆっくり走行してください。

P320 Owner's Manual

安全に関する手引き

■ 安全上の注意

警告！ 次のような操作をしないでください。



禁止
2人乗りはしないでください。



禁止
傾斜面は走行しないでください。



禁止
お酒を飲んだ時、過労気味、病気、気分が優れない時などは、
運転しないでください。事故の原因になります。



禁止
牽引しないでください。



禁止
携帯電話や無線通信機器などをご使用の場合は、
安全な場所に電動車をとめ、電源スイッチ
を切にしてからご使用ください。

本製品は20V/mのノイズ耐性（イミュニティ）レベルを備えています。
これによって、電波発生源による電磁波干渉（EMI：Electromagnetic Interference）
から本製品を保護することができます。

通信分野を始めとする電子機器類の急速な進歩を受けて、テレビやラジオ、通信信号から
放出される大量の電磁波（電波）が私たちの周囲を飛び交うようになりました。
こうした電磁波は目に見えず、発生源に近づくほど強力になります。

あらゆる伝導体は電磁波を受けるアンテナとして機能するため、電動車いすや電動スクーターは
いずれも、程度の差こそあれ電磁波干渉（EMI）に敏感です。
電磁波干渉は、車いすの異常な動きや意図しない動き、あるいは制御の不具合を引き起こす
おそれがあります。米国政府による以下の声明が、すべての電動車いす取扱説明書に記載されています。

電動車いすならびに電動スクーター（本声明ではどちらも「電動車いす」と呼称）は、
ラジオ局、テレビ局、アマチュア無線（HAM）送信機、送受信兼用無線機、携帯電話等から
放出される電磁波による干渉（EMI）に敏感に影響される可能性があります。（電波発生源からの）
干渉によって、電動車いすのブレーキ解除や、自発的な動作、意図せぬ方向への移動を生じさせる
おそれがあります。また、電動車いすのコントロールシステムに回復不可能な損傷をもたらす
可能性もあります。電磁エネルギーの強度は、ボルト毎メートル（V/m）という単位で測定されます。

電動車いすはいずれも、ある程度の強度のEMIに耐えられるように作られています。
これを「イミュニティレベル」と呼びます。イミュニティレベルが高いほど、
保護の度合いは高まります。現在の技術では、最低20V/mのイミュニティレベルを
提供することができます。
20V/mは、一般的な電磁波干渉の発生源に対して有効な保護レベルとされています。

以下の警告に従うことで、重傷事故を引き起こしうる、
電動車いすの予期せぬブレーキ解除および動作が生じる可能性を低減できます。



警 告 次のような操作をしないでください。

- 1) 電動車いすの電源を入れている間は、市民無線（CB）ラジオや携帯電話などの
携帯型通信機器の電源を入れないでください。
- 2) ラジオ局やテレビ局などの近隣にある送信機には十分注意し、
近づかないようにしてください。

- 3) 予期せぬ動作やブレーキ解除が生じた場合は、安全な状態に戻り次第、電動車いすの電源をお切りください。
- 4) 付属品および部品の追加や電動車いすの改造によって、電波発生源からの干渉の度合いが高まる可能性があることをご了承ください
(注意：電動車いすの総合的なノイズ耐性に及ぼす影響を容易に診断する方法はありません)。
- 5) 電動車いすの予期せぬ動作やブレーキ解除は、メーカーに必ずご報告ください。その際に近隣に電波発生源があったかどうかもお伝えください。

下記のいずれかが生じた場合は、可能な限り速やかに電動車いすの電源をお切りください。

1. 予期しない動作をする
2. 不意に方向制御ができなくなる
3. 勝手にブレーキが解除される

FDA（米国食品医薬品局）から車いす製造業者へ向けた文書では、新製品が電磁波による干渉に対する十分なイミュニティレベルを備えているか検査によって確認するようにと要請されています。同文書では、より多くの一般的な電磁波発生源に対して十分な耐性を有するようにと、電動車いすのイミュニティレベルを最低でも20V/mとすることが求められています。イミュニティレベルが高いほど、保護の度合いは高まります。

表示の意味



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が生命に関わるケガを負う可能性が想定される内容を示します。



この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示します。




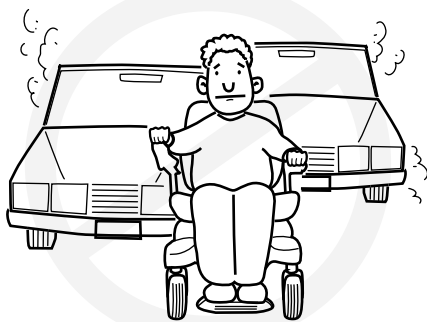
この記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
(～しないでください)



この記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
(～してください)

■ 屋外での走行

 **警告** 安全に運転していただくためにかならず守ってください。



 **禁止**

車道での走行は避けてください。



 **禁止**

防止柵のない側溝で走行は避けてください。



 **禁止**

なるべく雨ふりの走行は避けてください。



 **禁止**

なるべく雪道で走行は避けてください。



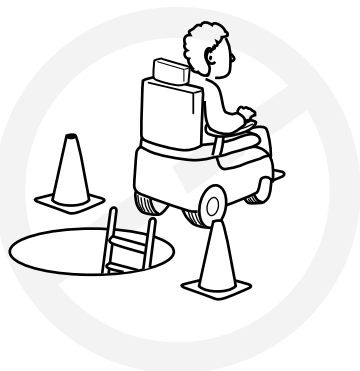
 **禁止**

なるべく荒れた道路で走行は避けてください。



 **禁止**

なるべく夜間の走行は避けてください。



禁止

後進するときには、後方の人や障害物、くぼみなどに十分注意してください。

後進の場合は最小速度を調節してください。



禁止

蛇行、急旋回、急停止は避けてください。



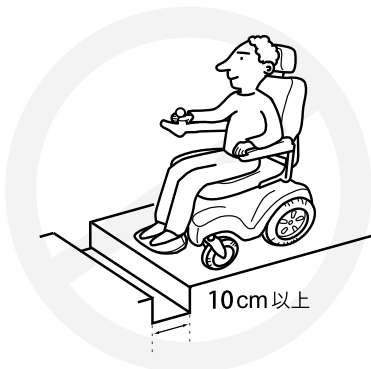
禁止

手足など体の一部を車体からはみ出さないでください。



禁止

4cm以上の段差を登らないでください。



禁止

10cm以上の溝は越えないでください。

■ 様々な状況の路面での走行



警告

坂道は平らな道より危険です。これらの警告に注意しないと、衝突や転倒など事故の原因となります。



警告

スロープや登り坂にさしかかる際、段差や斜面などがある場合は上体を前にして十分注意して走行してください。



禁止

10° 以上の角度を登らないでください。



禁止

坂道での後進はしないでください。

坂道は前進のみ使用してください。上り坂で後進すると、転倒事故及び電動車の損傷の原因になります。



禁止

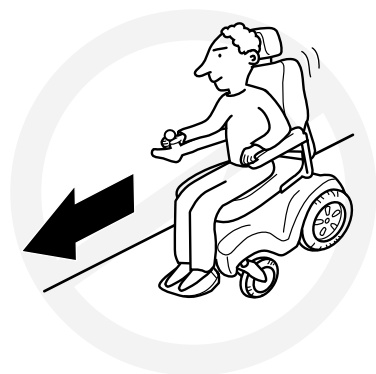
3° 以上傾斜のあるところは走行しないでください。

3° 以上傾斜のあるところは転倒事故および電動車の損傷の原因になります。



禁止

平らでない道や、砂利道や、防止柵のない側溝、草地など走行しないでください。



⊘ 禁 止

下り坂を走行するとき、最低速度にしてください。

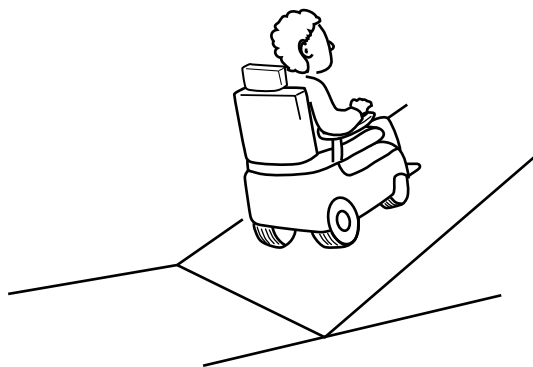
下り坂を走行しているときは、止まるまで時間がかかります。



⊘ 禁 止

坂道は車いすから降りないでください。

必ず平らな道に止めてから降りてください。



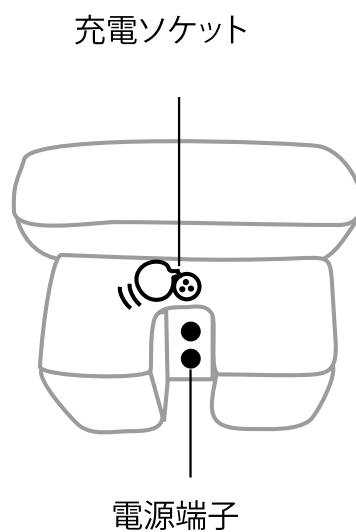
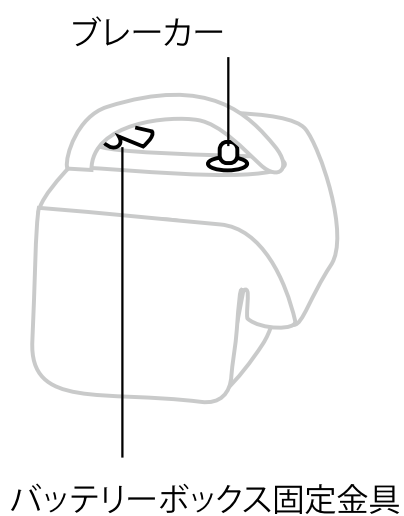
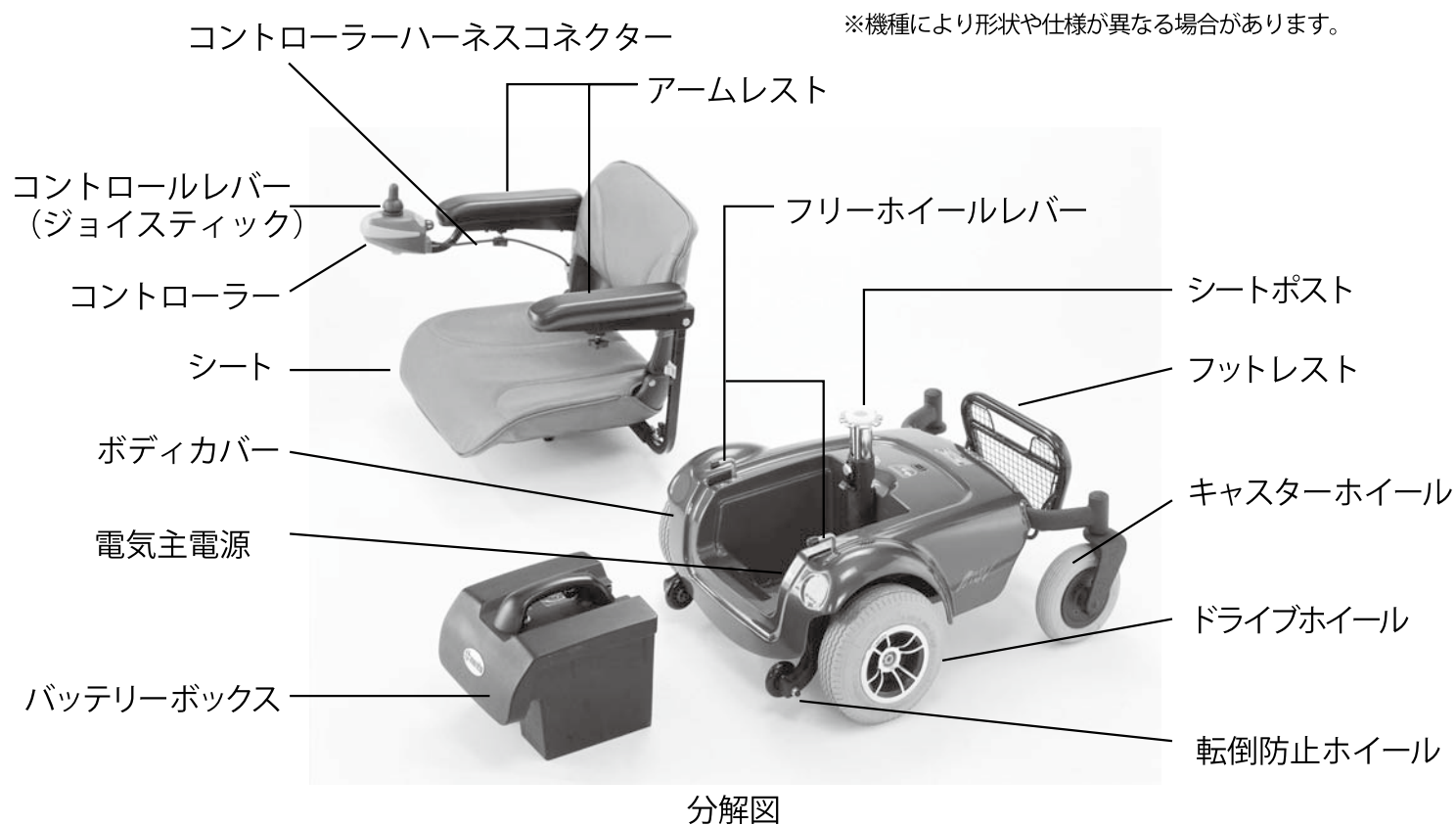
❗ 強 制

いつも勾配に対して垂直の位置で走行してください。

車いすの使い方を知る

■ 機能図 (各部の名称)

ここではP320がどのように動作するのか、多くの機能を紹介します。
P320がダメージを受けた場合はその都度、各部を点検してください。
P320は、次のコンポーネントで構成されています。



■ 仕様



機種	P320
全長	1020mm
幅（最大）	590mm（690mm）
高さ	1060mm
シート幅	460mm
シート奥行	470mm
最高速度	6km/h（最高速度内で調節可）
制限重量	100kg
本体重量(バッテリー含む)	62kg
モーター	DC24V,180W,3700rpm
制御方式	PG VR2 60A
バッテリー	12V 18.7Ah (5時間率) × 2 完全密閉式
充電器	3A off board
登坂可能角度	10°
前輪タイヤ	7*1-3/4" PU ノーパンク
後輪タイヤ	9" PU ノーパンク
満充電時連続走行距離	約12km（条件により変動します）

■ 用語について

ジョイスティック レバーを倒すと働きます

コントローラー この装置はジョイスティックで働かします。

アームレスト 乗り降りの際には、アームレストを上げ下げ出来ます。

フットレスト 足をのせられます。

ドライブホイール 駆動する車輪。

キャストホイール 前輪。

コントローラーハーネスコネクター ジョイスティックと本体を繋ぐケーブル。

フリーホイールレバー

このレバーで、駆動モーターを解除し、車いすを手押しすることができます。



警告！

誰も乗っていない状態の時は、駆動モーターを解除しないで下さい。
車いすが原因でケガの原因になります

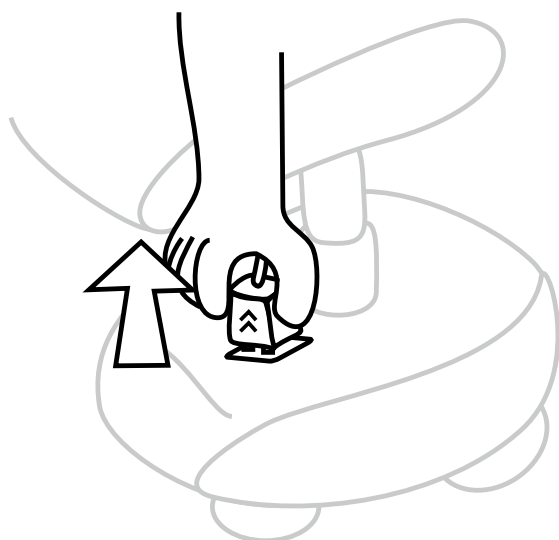
駆動モーターを解除するには。

1. フリーホイールレバーを内側に回して駆動を解除します。
2. ドライブモーターを解除する事でブレーキシステムも解除される事を確認して下さい

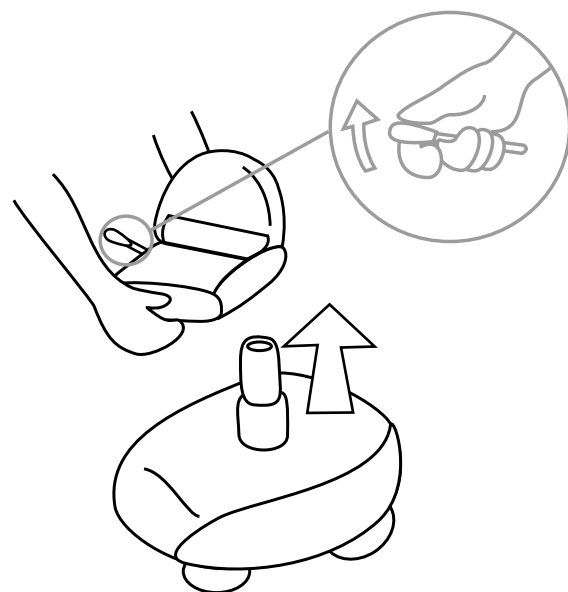
■ 分解の仕方

シート取り外しについて

1. 車体とコントローラーとのコネクタを抜いてください。
2. シート右のレバーを上げながらシートを引き抜いてください。
3. ロック解除ボタンを押して、バッテリーボックスの取手を持ち上げて取外してください。



車体とコントローラーとのコネクタを抜いてください。



シート右のレバーを上げながら、シートを引き抜いてください。



ロック解除ボタンを押しながら、バッテリーボックスの取手を持ち取外してください。

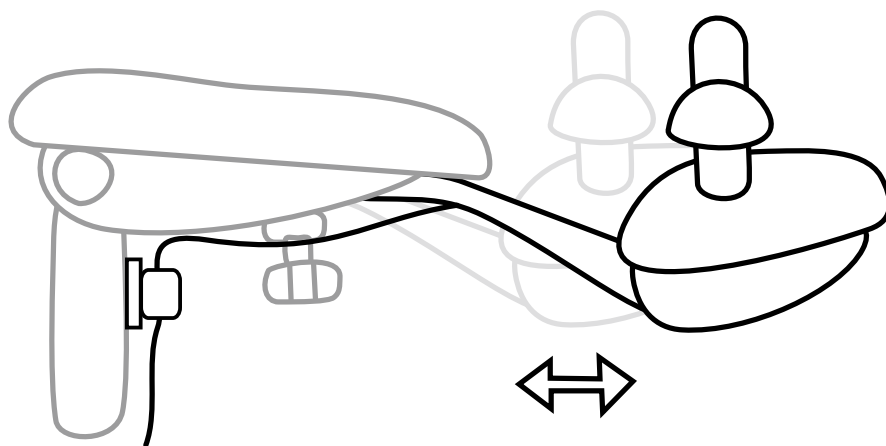
乗り心地を調整する

■ コントローラーの位置調整

左右それぞれ肘掛の位置を調整することができます。

コントローラーの位置調整手順。

1. コネクタを抜かないでください。
2. 肘掛を持ち上げて、固定いもネジを緩めてください。
3. コントローラーを肘掛から引き抜いてください。
4. 固定もネジを緩めしっかりと固定してください。
5. コントローラーのコネクタケーブルを邪魔にならないようクランプし、固定して下さい。



肘掛を持ち上げて固定いもネジを緩める

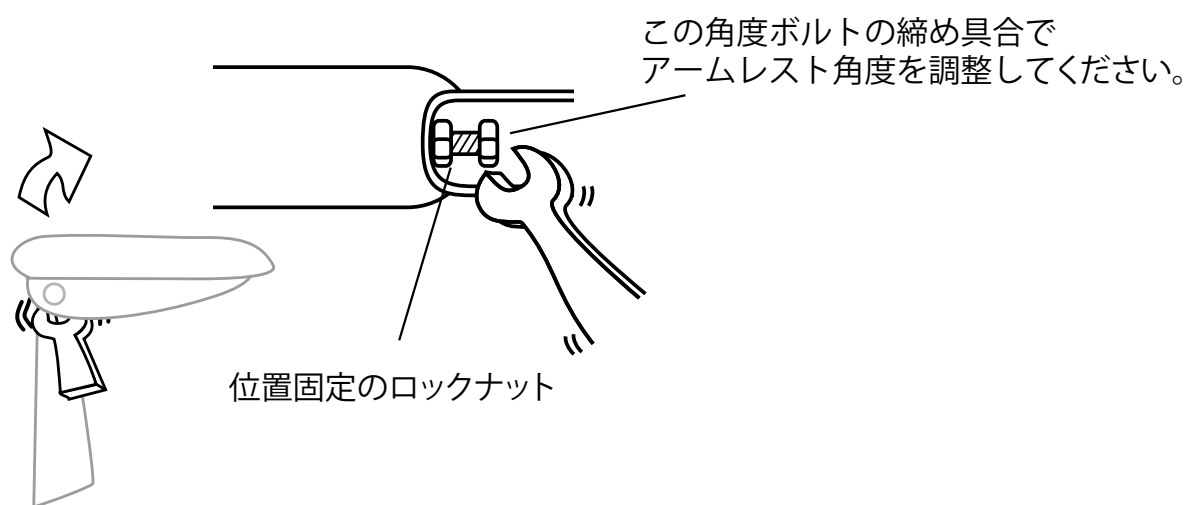
コントローラーを肘掛から引き、位置の調整してください。

■ アームレスト角度調整

左右それぞれ肘掛の位置と角度を調整する事ができます。

アームレスト角度の調整手順。

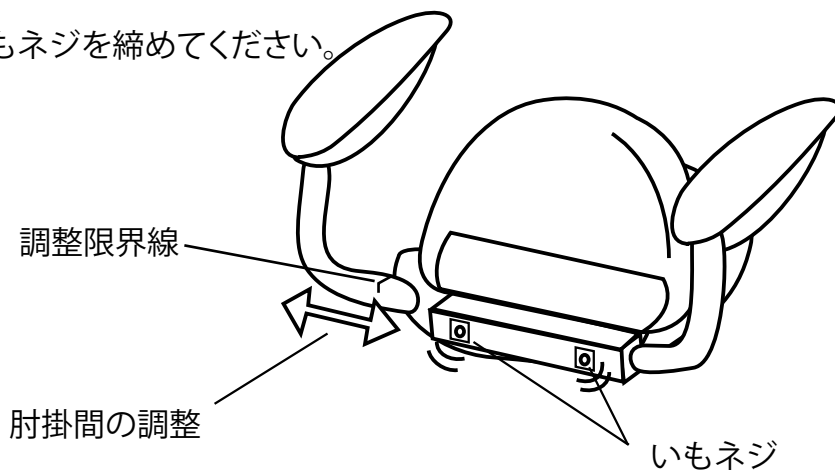
1. 肘掛を床から垂直に持ち上げてください。
2. 位置固定のロックナットを緩めてください。
3. 角度ボルトの締め具合で角度を調整しててください。
4. 位置が決まったら時計回りに位置固定ロックナットを締めてください。



■ 肘掛の間隔の調整

間隔の調整手順。

1. 肘掛フレームの後ろにある左右2つのいもネジを揺めてください
2. 肘掛フレームを調整限界線の範囲内で好きな位置にスライドさせてください。
3. いもネジを締めてください。



■ フットレストの角度調節

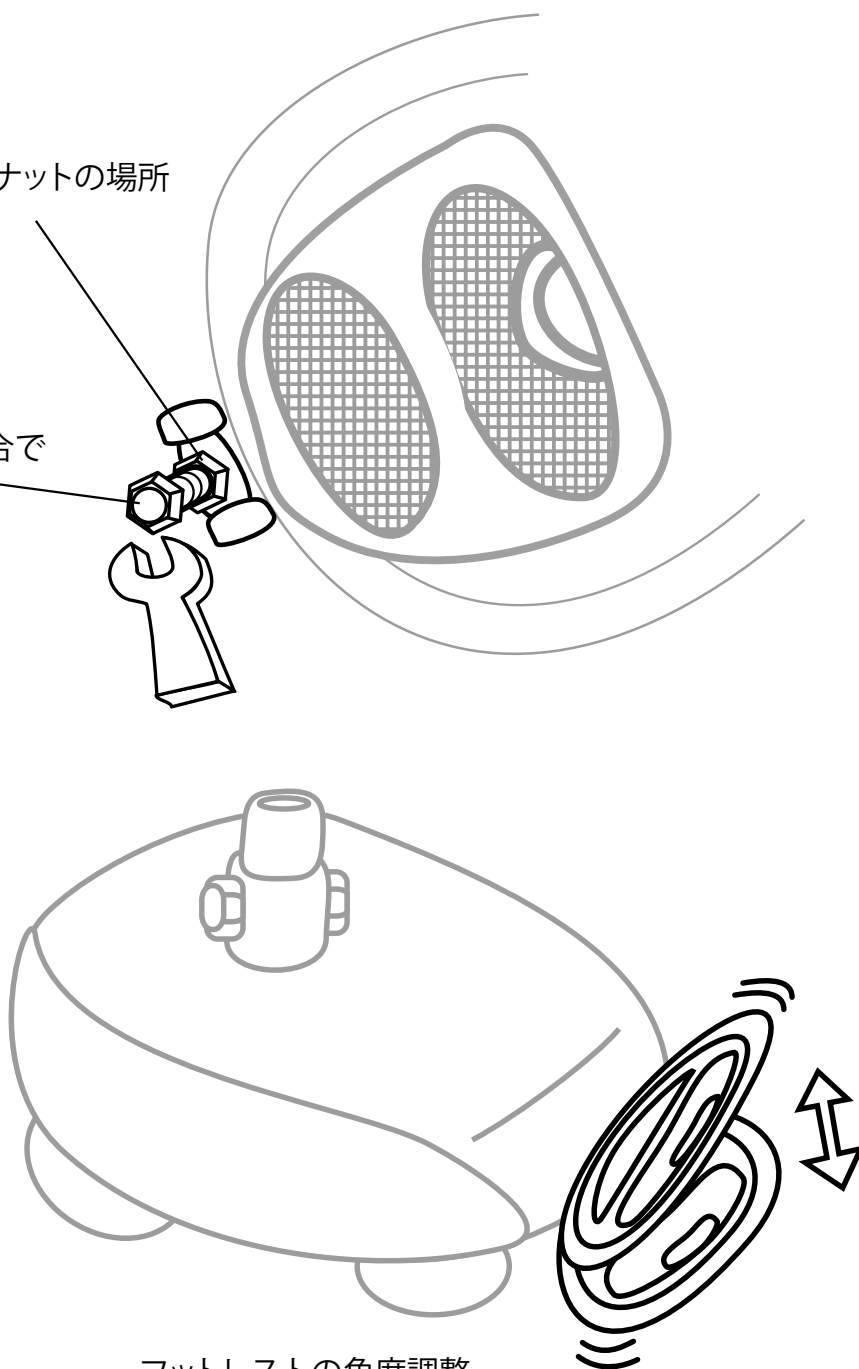
フットレストの角度調整ができます。

フットレストの角度調整手順。

1. 調整し易くする為にフットレストを持ち上げます
2. 位置固定のロックナットを緩め、フットレストをお好きな位置に角度ボルトの締め具合で位置を調整してください。
位置が決まったら位置固定のロックナットを締めてください。

位置固定のロックナットの場所

この角度ボルトの締め具合で
角度調整してください。



フットレストの角度調整

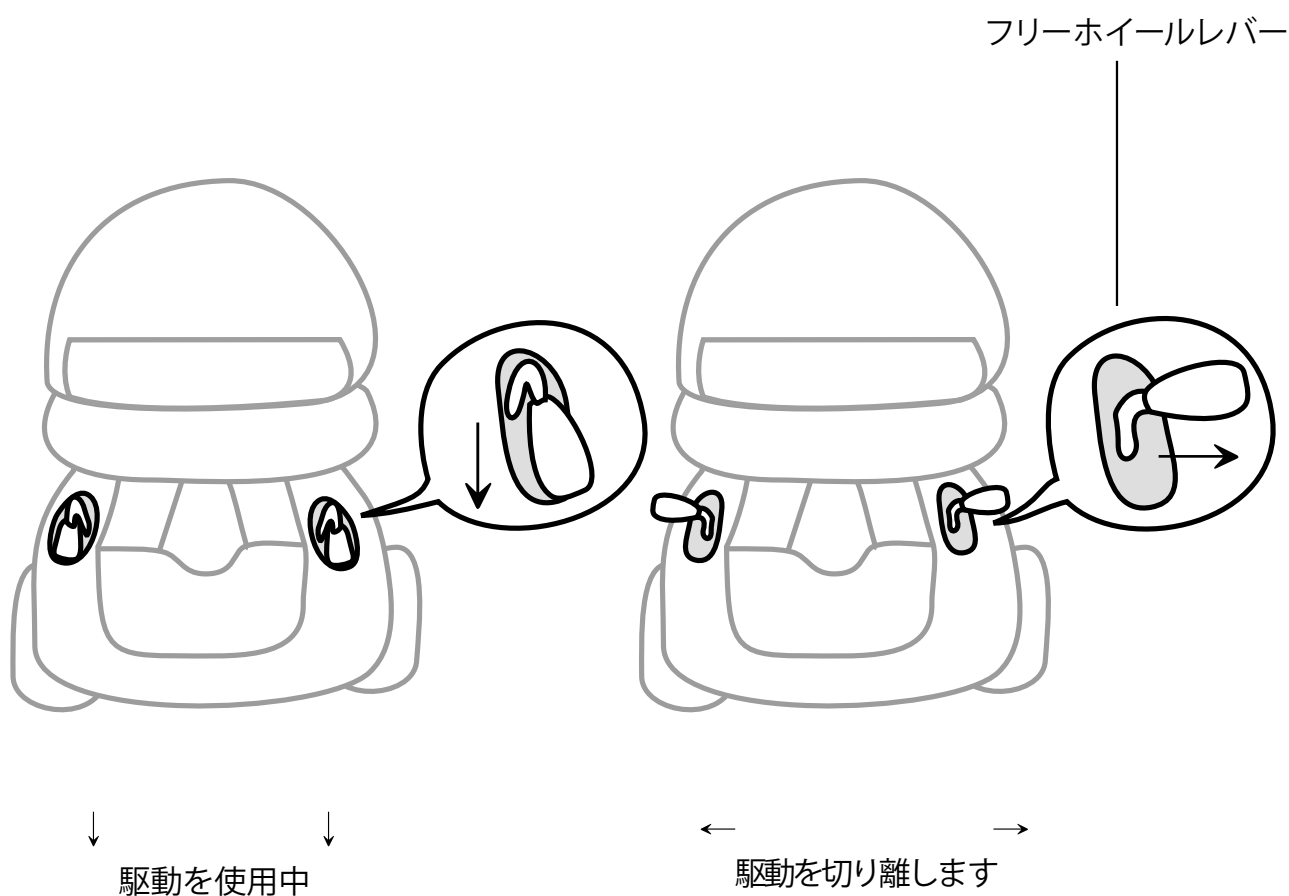
操作方法

■ 手押しの方法

電源が入っていないときは電磁ブレーキがかかっておりますが、フリーホイール（駆動の解除）の切り替えがありますので車体の手押しができます。

フリーホイール（駆動）の切り替え。

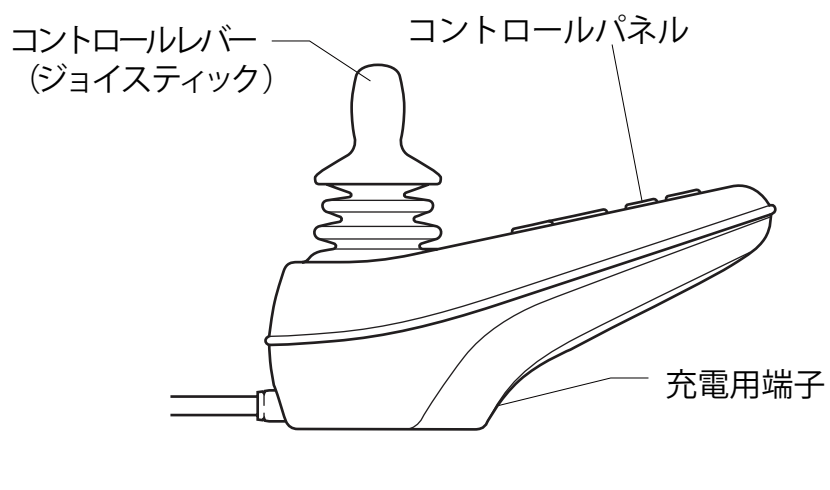
1. フリーホイールレバーを横に倒したときにはフリーホイール（駆動の解除）ができます。
2. フリーホイールレバーを後ろに倒すとバッテリー走行できます。



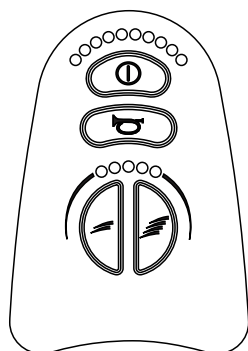
■ VR2コントローラーの操作の仕方

ここではコントローラー各部についてご説明します。

VR2コントローラー



VR2コントローラーボタンについて



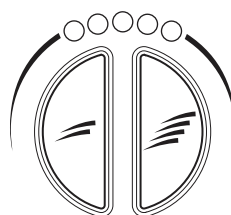
バッテリーメーター



電源スイッチ



警笛スイッチ



最高速度設定表示

速度設定キー/低

速度設定キー/高

電源スイッチとバッテリーメーター

電源スイッチを押すとまずはコントローラーに電源が入り、次に車いすのモーターに電気が送られます。緊急の場合を除き、電源スイッチを車いすを停止する目的で使用しないでください（電源スイッチによる停車を繰り返すと、車いすの駆動部品の寿命が短くなるおそれがあります）。

車いすに電源を入れると、バッテリーメーターが点灯します。点灯するランプの数は、車いすの運転状態も示しています。詳しくは第1項で説明します。

1 制御システム状態表示の見方

バッテリーメーターと最高速度／状態インジケーターには、コントロールシステムの状態が表示されます。不具合の疑いによって当社へ返送されたコントロールシステムの多くは、後に正常に動作することが判明しています。つまり、報告されている不具合の多くが、コントロールシステムではなく車いすの問題が原因で生じているのです。

1.1 バッテリーメーターが点灯している

すべて正常に動作しています。

1.2 バッテリーメーターがゆっくり点滅している

コントロールシステムは正常に動作していますが、できるだけ早くバッテリーを充電する必要があります。

1.3 バッテリーメーターの点灯数が増えていく

車いすのバッテリーが充電中です。充電器を取り外して、コントロールシステムの電源をいったん切り、再び電源を入れない限り、車いすを運転することはできません。

1.4 （コントロールレバーを離している状態でも）バッテリーメーターがすばやく点滅する。コントロールシステムの安全回路が作動して、コントロールシステムが車いすの動作を停止させています。車いすの電気システムのどこかに問題が発生したことをVR2コントローラーが検知して、システムが停止している状態です。以下の手順に従ってください。












- ・コントロールシステムの電源を切ります。
- ・車いすのすべてのコネクターおよびコントロールシステムに緩みがないかを確認します。
- ・バッテリーの状態を確認します。
- ・問題が見つからない場合は、第1.5項の手引きに従ってください。
- ・コントロールシステムの電源を入れて、車いすを運転してみます。安全回路が再び作動した場合は、電源を切って車いすの使用を止めてください。販売店までお問い合わせください。

1.5 問題対処のための手引き

システムが停止した場合、バッテリーメーターで点滅しているランプの数によって、どのような問題が生じたかを知ることができます。

以下の表は、不具合が生じた場合の対処方法の一覧です。
販売店にお問い合わせになる前にご確認ください。
点灯しているバーの数に対応する項目を参照し、説明に従ってください。
表通りに確認しても問題が解決しない場合は、販売店までお問い合わせください。

* 設定変更が可能な場合、モーターの切り替え機能が有効となります。
必要に応じて表内の左右を読み替えてください。

1個点灯 	バッテリーの充電が必要、またはバッテリーとの接続不良です。 バッテリー接続部を確認してください。 接続に問題がない場合は、バッテリーを充電してください。
2個点灯 	左側モーターの接続不良です。左側モーターの接続を確認してください。
3個点灯 	左側モーターとバッテリーの接続部がショートしています。 販売店にお問い合わせください
4個点灯 	右側モーターの接続不良です。 右側モーターの接続を確認してください。
5個点灯 	右側モーターとバッテリーの接続部がショートしています。 販売店にお問い合わせください。
6個点灯 	外部からの信号により、車いすの運転が妨害されています。 正確な原因は車いすの種類によって異なりますが、 バッテリー充電器が接続されていることが原因の可能性があります。
7個点灯 	コントロールレバーの不具合です。コントロールシステムの電源を入れる前に、 レバーの位置がセンターにあることを確認してください。
8個点灯 	コントロールシステムの不具合です。 接続部分に緩みがないかを確認してください。
9個点灯 	ブレーキ部の接続不良です。 ブレーキとモーターの接続を確認してください。 コントロールシステムが確実に接続されているか確認してください。
10個点灯 	コントロールシステムに過電圧がかかりました。 通常は、バッテリーの接続不良が原因で起こります。 バッテリー接続部を確認してください。
7個点灯+S 	通信不良です。コントロールレバーのケーブルが確実に接続され、 破損していないことを確認してください。

1.6 動作が遅い、もたつく

車いすの速度が十分に上がらないか、反応速度が十分ではない場合で、バッテリーの状態が正常である場合は、最高速度の設定を確認してください。速度設定を調整しても問題が解決しない場合は、危険を伴わないまでも、何らかの不具合があると考えられます。販売店にお問い合わせください。

1.7 最高速度／状態インジケーターが変化しない

コントロールシステムが運転状態に応じて動作するようにプログラムされているかどうかによって、表示が若干異なります。

1.7.1 最高速度表示

点灯するLEDランプの数は、設定されている最高速度を示しています。たとえば速度レベルを4に設定してある場合、左側のランプが4個点灯します。

1.7.2 状態インジケーター

点灯したLEDランプの位置は、選択した運転状態を示しています。たとえば運転状態4を選択している場合、左から4番目のランプが点灯します。

1.8 最高速度／状態インジケーターの点灯数が増減を繰り返す

コントロールシステムがロックされていることを示しています。

1.9 最高速度／状態インジケーターが点滅する

安全上の理由で車いすの速度が制限されていることを示しています。正確な理由は車いすの種類によって異なりますが、最も一般的な理由として、座席部が高い位置にあることが挙げられます。

▶ 電動車いすの運転の仕方 ◀

バッテリーおよび充電

ご利用いただいている車いすには、長寿命の12Vのバッテリーが2つ使用されています。この2つのバッテリーは、密閉型で整備不要の、深放電型（ディープサイクル）バッテリーです。密閉型であるため、電解質（液）の量を確認する必要はありません。深放電型バッテリーは、容量一杯近くまでの深放電に対応するよう設計されています。外見は自動車用のバッテリーに似ていますが、代用することはできません。自動車用のバッテリーは長時間の深放電ができるようには作られていないため、車いすで安全に使うには適していません。



警告

電極や端子および関連部品には、鉛や鉛化合物が含まれています。取り扱い後は手をよく洗ってください。

バッテリーの「慣らし放電」について

車いすの新しいバッテリーが最大限の効率を発揮できるように、下記の手順で慣らし放電を行います。

1. 初めてお使いになる前に、新しいバッテリーの満充電を行ってください。これによってバッテリー最大容量の約90%まで充電されます。
2. 車いすで自宅や庭などを走行してください。最初はゆっくりと走行します。操作に慣れるまではあまり遠くへ行かずに、バッテリーの慣らしを行います。
3. もう一度、8時間から14時間かけてバッテリーの満充電を行った後、車いすの運転を再度行います。この時、バッテリー容量の90%以上の充電が可能になっています。
4. 満充電から放電までを4～5回繰り返すとバッテリーは100%充電可能になり、長持ちするようになります。

バッテリーに関する注意事項

深放電型バッテリーを満充電にすると、性能が向上して、バッテリー寿命が長くなります。可能な限り、バッテリーの満充電状態を保つようにしてください。定期的に放電を行ったり、充電頻度が少なかったり、満充電せずに保管したりすると、バッテリーが回復不可能な損傷を受け、動作が不安定になったりバッテリーの寿命が短くなったりするおそれがあります。

車いすを定期的に使わない場合、バッテリー寿命を維持するために週に1回以上はバッテリー充電を行うことをお勧めします。

補足：車いすを長期間しまっておく場合、フレームの下に数枚の板をあてがい、車体を地面から離すようにして置くとよいでしょう。
こうすることで、タイヤが地面に触れず、タイヤの一部に「フラットスポット」という平らな部分ができるのを防ぎます。

車いすを使いながら公共交通機関を利用したい場合は、あらかじめ交通機関に問い合わせ、利用条件を確認しておく必要があります。

密閉型鉛酸ゲルセルバッテリーは、車いすおよびその他の電動車での使用を想定して設計されています。通常、「ノンスpill (Non-Spill)」という表示のある密閉型鉛酸バッテリーは、航空機やバス、電車などあらゆる種類の交通機関で安全にご利用いただけます。輸送や梱包について特に条件が設けられていないか、交通機関に問い合わせることをお勧めします。

車いすを最終目的地まで発送するように輸送会社に依頼する場合は、車いすを出荷時と同じ状態に梱包しなおし、バッテリーはそれぞれ別々の箱に入れて発送してください。

バッテリーを充電する

バッテリー充電器は、電動車いすで特に重要な部品に数えられます。
バッテリーを安全かつスピーディーに、簡単なやり方で充電することにより、電動車いすの性能を最大限に引き出せます。同梱された充電器以外はお使いにならないでください。

充電の仕方

1. 充電器の出力側コードを矢印を上、コントローラー前面にある充電端子に差し込んでから充電器の入力側コードを家庭用コンセントに差し込みます。



2. 詳しくはP.27からの充電器説明に従ってください。
3. 最短の充電時間はバッテリーの状態や放電した量によって異なります。
バッテリーの充電は、夜間に行うことをお勧めします。

補足：専用充電器をお使いいただくことで、充電器への電源投入時間やバッテリーへの接続時間の長さにかかわらず、余分な電力消費を防ぐことができます。

4. 充電が完了したら、家庭用コンセントから充電器のコードを抜き、次にコントローラーの端子からコードを抜きます。
入力側コードをコンセントから抜いた後、コントローラー側に出力側コードを差し込んだままにしないでください。
危険な状態であり、バッテリーへの充電が安全に行われなくなるおそれがあります。

充電器について

充電器説明

1. 仕様

項目	仕様
モデル	HP8204
出力電流	3A 連続
出力電圧	24V
最大出力電圧	31V
入力電圧	115V/230V オプションスイッチ 115V (95V～132V) /230V (180V～264V)
過電圧に対する保護	約 32.5V 自動的にシャットオフ
過電流に対する保護	約 8A 自動的にシャットオフ
ショートに対する保護	出力ヒューズが切れるまたは自動的にシャットオフ
使用環境温度	-10℃～50℃
保存環境温度	-25℃～85℃
作動温度	0℃～40℃
寸法	180×93×53mm
重量	0.83kg
承認、認定	PSE,UL,CSA,CE,TUV,T-MARK



警告

安全にお使いいただくためにかならず守ってください。

2. 取扱説明

1. 充電器と電動車いすを接続する前に、AC パワースイッチをオフにしてください。
2. 充電器の端子を電動車いすの充電端子に接続してください。
3. 上の順序を終えた後、AC パワースイッチを”I” にするとファンが動きはじめます。
LED が赤 / 黄色にかわったら、充電器が通常の充電中の状態になっています。
(もし異常な現象が起こった場合、ただちに充電器をきってください。そして (1)～(2) の順序を繰り返しチェックしてください。それから充電器を再びつけてください。)
4. LED が赤 / 緑に変わったら、バッテリーは充電が完了しています。
5. 黄 / 緑の LED 状態で、スイッチング時に切り替わる現象がありますが、これは標準の仕様で、問題ありません。

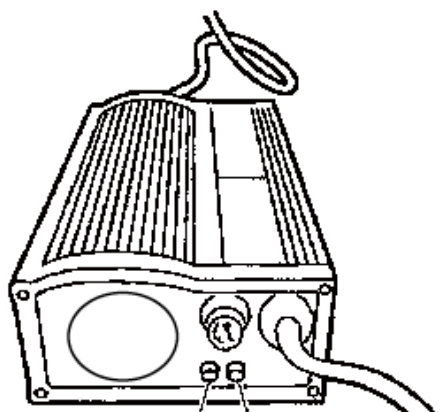
3. LED 表示の意味

LED (電源、電力) 赤色点灯 : 充電器のパワーオン

LED (充電) 消灯 : バッテリー切断

黄色 点灯 : 充電中

緑色 点灯 : フル充電済み



電源表示 LED 充電表示 LED

警告！ 安全に使用していただくためにかならず守ってください。

4. トラブル解決作業 / 故障点検

1. パワースイッチがオンの時に、LED ランプが点灯しない。
 - ☞ 電源コードの接続を確認してください。
 - ☞ コンセントの接続を確認してください。
 - ☞ ヒューズが通常状態であるか確認してください。
2. パワースイッチのオン時に、赤 / 黄色の LED ランプが点灯しない。ファンが動かない。
 - ☞ 電源コードがショートしていないか確認してください。
3. パワースイッチがオン状態で、赤の LED がついているが、緑の LED が点滅して充電動作が始らない。
 - ☞ 出力ヒューズが機能しているか確認してください
 - ☞ 出力コネクタとバッテリーのあいだの接続部を確認してください。
 - ☞ バッテリー極性が正しく接続されているかを確認してください。
 - ☞ バッテリーが完全に接続されているか確認してください。
4. 電源スイッチをつけたら、ヒューズが切れてしまう。
 - ☞ 新しい同じヒューズに交換してください。
 - また、自分で充電器を分解したり、別の大型ヒューズに交換しない下さい。
5. 充電時間が異常に長く続く。
 - ☞ バッテリーの接続は確かか、寿命ではないか調べてください。
6. 充電中に黄 / 緑の LED ランプが 40 秒以上点滅する。
 - ☞ バッテリーに異常がないか確認してください。
7. バッテリーが異常に熱をもつ。
 - ☞ 充電するのを中止し、充電器に何か問題がないか確認してください。

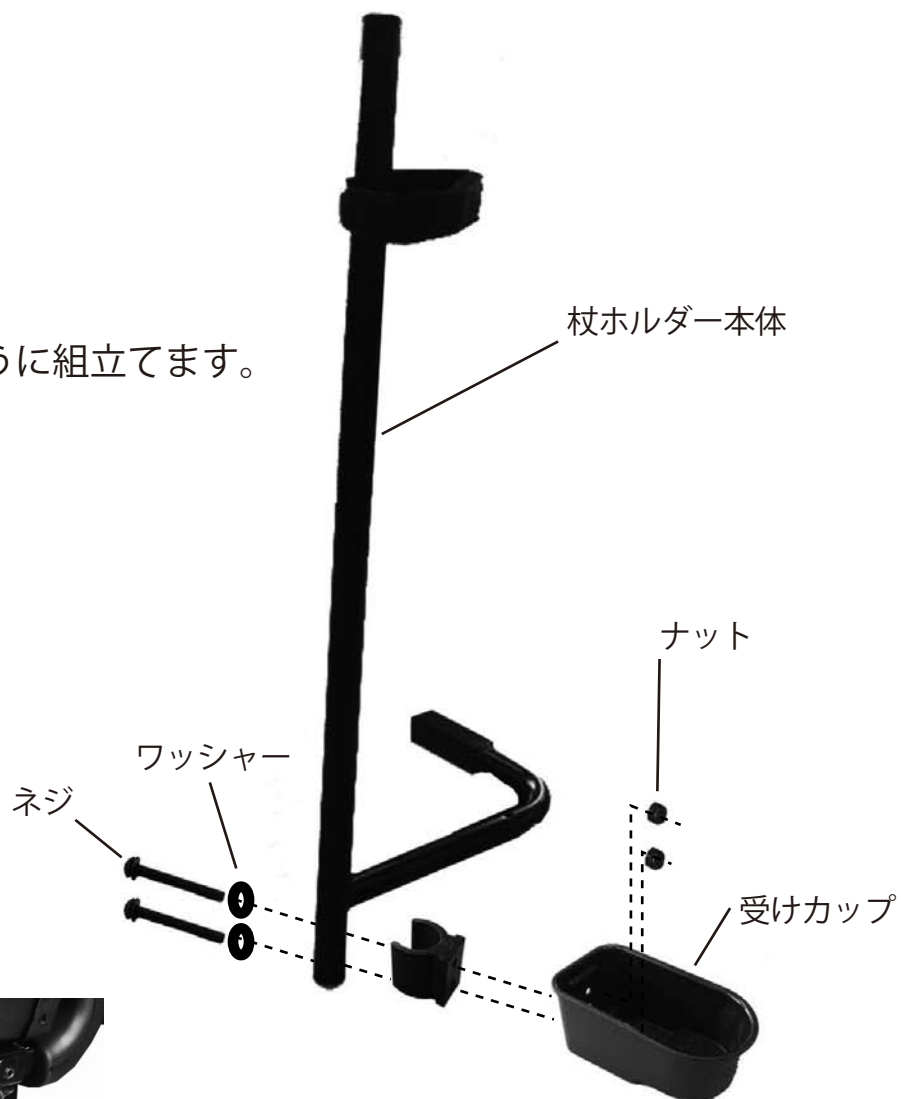
5. 警告



1. 充電器の電源コードにアース線がある場合は、安全のために、適切にアース接続をおこなってください。
2. DC 出力は充電されるバッテリーと 電圧値が一致しているか確認してください。バッテリーの破損や人を傷つけるおそれがあります。
3. 充電回路と充電器が接続される前には、オン / オフの電源スイッチは” O ” の位置に。
4. 充電器を雨や水、湿度の高い場所には放置しないで下さい。充電器を燃焼物の近くや、密閉された場所に置かないで下さい。
5. 利用者がこの使用上の注意を守らずに、改造や危険な扱いをした場合、当社は責任を負いかねます。

杖ホルダーの取付け方

①杖ホルダーを右図のように組立てます。



※機種により形状や仕様が異なる場合があります。

保証書

お届け日 平成 年 月 日

お客様
ご芳名 様
〒□□□-□□□□
ご住所
TEL

販売店
店名・住所

保証期間

お届け日より

1 年

保証の適用除外

保証期間中でも次のような場合には、有料修理又は出張料を申し受ける事があります。

- (1) 本保証書のご提示が無かった場合。
- (2) 本保証書にお届け日、お客様名、販売店名の記入が無く、納品書又は領収書等にて必要事項の確認ができなかった場合。
- (3) 保証書の記載事項の字句を書き替えられた場合。
- (4) 誤った使用あるいはお取扱上の不注意や過失によって故障が生じた場合。
- (5) 本製品をご使用者自身又は他業者により変造、改造された場合。
- (6) ご購入後の移動や輸送及び落下等、不適切なお取扱により故障及び損傷が生じた場合。
- (7) 火災、地震、風水害、落雷およびその他の天災地変、公害、塩害、ガス害による故障又は損傷が生じた場合。
- (8) 指定電源(AC100V 50Hz/60Hz)以外の使用、及び異常電圧による故障又は損傷が生じた場合。
- (9) 本製品の使用による経年変化に該当する事項、及び消耗品の交換。
 - ① 布地、革、ソフトレザー等の破損、変色。
 - ② 木部の変質、塗装・メッキ部の曇り変色。
 - ③ 電球の切れ。
- (10) 一般家庭用以外（例 業務用等）に使用された場合の故障及び破損。
- (11) 設置場所（床面のゆがみ等）に起因される異音、組立不具合。
- (12) 本製品外より発生した食虫害。

設置場所

(1) ご贈答品、あるいは転居等で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書記載のお客様相談室へご相談下さい。

(2) 本保証書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in japan.

法的責任

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権限を規制するものではありません。保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にお問い合わせ下さい。

保証の態様

(1) 保証期間内において、取扱説明書、製品添付の注意ラベル等の注意書にしたがって正常な使用状態で故障した場合には、無償修理致します。

(2) ご用命の際は、お買い上げの販売店又はお客様相談室にご連絡下さい。

(3) 離島や離島に準ずる遠隔地については、弊社規定に沿い訪問に要する実費を申し受けることがあります。

保証を受けるための条件

保証を受けるためには、出張修理の際に本保証書及び販売店納品書又は領収書を提示して下さい。

※ご注意 納品書又は領収書を併せて保管願います。

保証の対象

消耗部品を除く、本体とし保証期間は別表によります。尚、別売部品をご選択の場合は、別売部品添付の保証書によります。

免責

本製品の故障の放置又はその使用によって生じた、直接、間接の損害についての保証は、一切その責を負いませんので、あらかじめご了承下さい。

販売店様へのお願い

ご販売又はご配送時に保証書の所定事項（お届け日、販売店名）をご記入の上、お客様へお渡し下さい。

フランスベッド株式会社

〒196-0022 東京都昭島市中神町1148番地5
TEL 042(543)3111 (代表)

お問い合わせ先

お客様相談室

修理、お取り扱い、お手入れなどのご相談は、まず、
お買い上げの販売店へお申し付け下さい。

◎ 弊社製品は厳格な検査を経て納入致しておりますが、万一不具合な点がございましたら
お買い上げの販売店又は弊社相談室にお問い合わせ下さい。



0120-39-2824

フリーダイヤル：月～金 9時～12時、13時～17時
土、日、祭日、年末、年始等は除く

FranceBed